

校長室だより
NO. 1
平成30年4月6日

すべては光る

梅園小学校長
たか すりょうへい
高 須 亮 平

新入生149名が加わり、全30学級で平成30年度がスタートする

いよいよ平成30年度が始まりました。今年度の1年生は149名で、全校は801名となり、昨年度より30名ほど増えました。学級数は1年が5学級、2～6年が4学級、特別支援学級が5学級で、全体として2学級増の30学級となりました。岡崎市内では大規模校の中に入ります。

特に、今年度は1年生の人数が増え、5学級になったことはうれしく感じています。それは、附属小学校に隣接する本校としては、これまで、学区内の多くの子どもたちが附属小学校へ入学することがありました。しかし、最近では多かった年のほぼ1/3～1/4の人数になっています。これは、ある面で、本校の教育を認め、期待していただいていると受け止めることができます。ぜひとも、それにこたえるためにも、梅園小学校らしい教育を推進していきたいと考えています。



正門のくすのきの看板
(旧4年生設置)

さて、平成30年度の本校の教職員は、次の表の通りです。

平成30年度梅園小学校教職員一覧

○：主任 ※：転任 *：新任

担当	名 前	担当	名 前	担当	名 前
校 長	高須 亮平	3 - 4	○常松 紀子	県事務主査	野村 照吾
教 頭	倉地 耕治	4 - 1	○三浦 浩登※	県事務主事	岩月健太郎*
教務主任	加納 隆	4 - 2	岩田 光憲	再任用	大城 龍夫※
校務主任	原田 尚子	4 - 3	赤堀 幸恵	再任用	畔柳 貞美※
校務補佐	鈴木 里子※	4 - 4	鈴木 里子※	校 務 員	石川 由美
拠点校指導員	鈴木 善博※	5 - 1	奥田 美里※	A L T	リサ ニシムラ※
養護教諭	川端 匡子	5 - 2	野村 隼斗*	英語補助	則包 恵子
1 - 1	土屋 洋子	5 - 3	○伊藤 正道	非常勤(特別支援)	杉浦 和則※
1 - 2	佐藤あかね	5 - 4	本田 裕子	非常勤・教員補助	黒野 佳子
1 - 3	荻野 明美	6 - 1	新井 健祐	非常勤・教員補助	山川由紀子
1 - 4	大谷 啓介	6 - 2	本郷 水紀	教員補助	山崎 希
1 - 5	○吉田 帆波	6 - 3	江口 圭介	教員補助	高田 裕子
2 - 1	服部 将也	6 - 4	井畑絵美梨	教員補助	鈴木 裕美
2 - 2	○尾崎 和美	6 組	○木河 淳治	教員補助	三浦 明子
2 - 3	神谷 美華*	7 組	矢田 真衣	養護教諭支援員	中島 榛菜*
2 - 4	島田智恵子※	8 組	寺田 幸加	給食補助	二村 緑
3 - 1	尾関 恭子	9 組	山口理紗子※	給食補助	小畑 圭子
3 - 2	遠藤美保代※	10 組	大塚 真悟	給食補助	鳥居 久恵
3 - 3	川口 真生	4年4組の担任は校務補佐を兼任、福田は尾関に改姓			

全教職員は54名です（今後、1名増員予定）。今年度の学級数は2学級増ですが、在籍教員は5名の増加となっています。昨年度と比較して、まず、1・6年が1学級増により教員定数が2名増えました。また、加配教員として拠点校指導員が配置され1名増えました。拠点校指導員とは新規採用教員の指導に当たります。今年度も本校に新規採用教員2名が配置されましたので、週2～3日は本校勤務となります。さらに、特別支援学級に対応する非常勤講師1名が配置されました。これは、週12時間、特別支援学級の子どもへの指導に当たります。教員補助者も1名増え、普通学級において個に応じた指導が必要な子どもへの指導等、学校の諸事情に応じた指導をします。その他、他校在籍ですが、通級指導教員として、週1回程度、子どもの個に応じた指導をする教員、語学支援員として、月2回程度、ポルトガル語の指導に当たる教員が配置されました。

以上が、平成30年度の本校の教職員です。人数的には昨年度より多くなっていますが、教育は子どもにどう働きかけ、子どもがどう育つかが大切となりますので、質を重視した取り組みを行っていきます。本年度は、「授業」のさらなる改善と充実に取り組んでいきます。その詳細は次号等でお知らせします。



東の石山のエノキの看板
(旧4年生設置)

校長室だより「すべては光る」

学校は、個性や能力の異なる子どもたちがかかわり合う中で成長する場です。そのため、教育に当たる上で、一人一人の子どものよさや足りなさ等をとらえ、それに寄り添いながら、知・徳・体の調和のとれた人間の育成をめざすことが求められます。時に学校だけではなく、家庭での子どもの様子を把握する必要が生じたりします。少なくとも保護者の方々に梅園小学校の教育の考え方や子どもたちの現状をご理解していただくことが大切と考えています。そのため、この校長室だよりは、学校での教育活動をお知らせし、また、ご意見をいただきながら、それを教育活動に反映させ、よりよい活動を推進するものにしたいと考えています。この校長室だよりを通して、皆さんと教育を考え語り合える場となれば幸いです。

この校長室だよりのタイトル「すべては光る」は、次の詩から名付けました。これは、詩人坂村真民（1909～2006）の詩であり、私は教師になったときから坂村真民さんに親しくしていただき、ご本人、またその詩から多くのことを教えていただきました。この「すべては光る」は、私の教育理念ともいべきものになっています。

光る 他から 光らないものは ひとつとしてない
光を受けて

光る 光る すべては 光る 光る
すべては 光る

この詩は、一人一人がすべては光る存在であり、必ず光ることができるという、生きていく力を湧き立たせてくれる詩です。梅園小学校の子どもたちが光るとはどういうことか。また、私たちはどうすべきか。そのようなことを求め続けながら、この校長室だよりを通して子どもの教育について考え、実践していきたいと思えます。